

支部紹介

苦小牧支部



苦小牧薬剤師会は東胆振 1 市 4 町(苦小牧市、白老町、むかわ町、厚真町、安平町)の215名の薬剤師会員で構成され苦小牧市内では67件の薬局が営業しており、公衆衛生の向上と健康の保持増進、社会福祉等を増進する事を目的としております。

人口減少や少子高齢化が続く中で、地方から大都市への人口の流出を食い止め圏域の市町が連携・協力しながら互いに役割分担を行い、生活機能の確保や地域住民の利便性向上など、圏域全体の活性化を図ることを目的とした広域行政の取り組みをしており、苦小牧市は平成26年7月16日に町長や議長の立ち合いのもと「中心市宣言」を行い、多様な都市機能の充実に努め、安全で安心して暮らし続けられる地域社会の形成と魅力ある地域づくりに関して中心的な役割を担う意思を明らかにしました。

苦小牧市の特徴としては世界的にも珍しい大型の内陸式掘り込み港と、北海道の空の玄関「新千歳空港」を有する北海道の交通の要衝、またホッキ貝水揚げ日本一などの豊富な海産物にも恵まれています。年間平均気温は7～8℃、雪は道内ではかなり少ないのが特徴です。夏も基本的には最高気温が30℃を超える事は少なく、坂道もほぼ無いためとても過ごしやすい地域です。また苦小牧市は東西に非常に長く場所によって積雪量の違いが大きいので、何センチ降った降らないの内容が毎朝の会話の一部になるのもこの地域の特徴の一つと感じております。

苦小牧の簡単な紹介ではございましたが、ここからは吉田副会長からのユーモ

ア溢れる支部紹介、そして須藤副会長からの薬物乱用防止キャンペーンの紹介となります。

最後はボウリング大会について書かせていただいております。(小山内真五)

苦小牧薬剤師会の吉田嗣と申します。この度は支部紹介を読んで頂き誠に有難うございます。皆様の目に留めて頂いたことに心より感謝を申し上げます。

苦小牧と言えば道民悲願の甲子園優勝を果たした駒大苦小牧高校の記憶は皆様と共有していると存じます。優勝のお祝いを持参した際に手にする事が出来た深紅の優勝旗と優勝盾の重量感は今も色褪せない記憶で、あのメロディーが耳に残っています。♪♪♪駒大苦小牧チャンス♪♪♪



駒大苦小牧優勝

それでは私がこのコーナーの主旨である、これから入会を希望する皆様に苦小牧支部が候補地として検討に値するか否かの事象を地の利を活かした観光大使にでもなったつもりで紹介する事にしましょう。

樽前山・ゴルフ場

樽前山は手頃な登山には打ってつけの身近な山です。頂上からの眼下に広がる太平洋と支笏湖は手軽な標高クラスでは最高峰の絶景で有り、風不死岳との縦走は「孤高の人」の心境に浸れることでしょう。リスやヒバリも出迎えてくれると思います。しかしながら活火山レベルは「A」ランク。因みにうちの家内も直下型噴火レベル「A」。仲間内からは周知のクラス分類となっております。また樽前山の裾野には有数のゴルフ場が広がっております。♪♪♪オーガスタゴルフテーマ♪♪♪気軽



樽前山



ゴルフ場

にゴルフをプレー出来る環境はゴルフに興味のある方には最高の環境に有ります。私も皆さんをメンバーコースでお待ち申し上げたいところです。クラブハウスから樽前山を望みながらのジンギスカンの味は格別でビールが進んだ頃には些細な自分のスコアや日頃の憂さなどは綺麗さっぱりと忘れさせてくれるでしょう。

サイクリングロード

自転車がお好きな方には深緑を求めて支笏湖へのサイクリングロードのチャレンジもお勧めです。往路はなだらかな登りが続き少々しんど



サイクリングロード

いですが復路は往路の恩恵に与れます。昔、苫小牧と支笏湖間を縫っていた山線と称される軽便鉄道廃線跡にプラタモリ気分♪♪♪ハローハロー♪♪♪当時を偲んで滑走してみてください。爽快なサイクリングがお求めならば港から白老方面への潮風ラインに風に吹かれてみてはどうでしょうか。♪♪♪ The answer is blowin' in the wind ♪♪♪

旅行

旅をするにも陸・海・空のルート検索が豊富な土地柄です。フェリーに、飛行機に、鉄道に、高速道路のインターチェンジ♪♪♪Nobody gonna take my car♪♪♪が沼ノ端に♪♪♪空港♪♪♪東へ西へ♪♪♪中央♪♪♪どこからでも旅へのアクセスが可能です。フェリーでの旅立ちには♪♪♪しぼったばかりの夕陽の赤♪♪♪のお見送りがある事でしょう。復路で羽田空港から朝一便の搭乗や夜行フェリーの乗船に間に合えば何食わぬ顔で普通に出勤も可能でしょう。のりしろ無しの旅なんてえのは如何なものでしょうか？この他にも私の得意な麻雀荘と酒場の逸話についてもお話ししたい処ですが今回はこの辺にしておきましょう。



苫小牧フェリーターミナル

苫小牧市夜間・休日急病センター

少し職能面でのメリットについても触れておきたいと思います。運営母体はあくまでも医師会ではありますが苫小牧市には「夜間休日急病センター」なるものがあり、苫小牧市民のみならず近隣の街からも利用率の高い夜間休日に限定されたクリニックが有ります。ここ



苫小牧市夜間・休日急病センターには我々も当番制で勤務し日々違う医師の処方に対応しております。この施設は第一診察室の横に薬局エリアがあるので医師と患者のやり取りを確認できる貴重な場と捉えております。普段の仕事では処方に行き着くまでの部分がブラックボックス化されており手探りで処方意図を探るのが当たり前の日頃の状況とは全く違います。医師が苦心して患者に向き合う姿勢や看護師が忙しく処置する光景を見ることは自身のキャリアの向上に必ずや繋がるはずで。皆さんがこの事業に参加することは地域医療への貢献が出来、キャリアupも出来と一挙両得な支部活動であると自負します。他にも地域貢献活動の一貫として学校薬剤師活動も積極的に取り組んでいる支部でもあると思います。市内の幼稚園・小学校・中学校・高校・高専に対して一人一校の担当を原則に人員配置しております。大会参加や研究考察を発表する機会もありますので個々のスキルアップに役立てる下地もあると考えます。

とまこまい医療介護連携センター

また地域包括ケアシステム構築の為の連携プログラムも若手の先生が核となり行政・医師会・歯科医師会・看護協会と連携を取りながら実施しております。他職種連携のスムーズさに於いて事務局の立地条件も挙げられます。医師会館内に医師会・歯科医師会・看護協会・薬剤師会が一同に入居している事のメリットは大きく連携の充実度が高いと考えています。レクリエーションにおいても三師会の合同のゴルフコンペの開催や若手の先生を中心としたボウリング大会他も毎年開催されております。このように「地域貢献」「キャリアアッ

プ」そして何よりの「報酬」が付いてくるとなれば「三方良し」の支部じゃないでしょうか。

今後の展望

今の支部状況はと申しますと苦小牧支部に限った事柄では無いと思いますが、新規の開局店がグループ調剤による店舗出店が殆どで個店とグループ調剤の割合乖離が年々進んでおります。経営形態が確率された昨今では今後も調剤グループに帰属する流れが加速する方向性は致し方ない事象です。そんな渦中に於きましても苦小牧支部は基幹・中核病院の他、市内クリニックでも高い分業率を維持しており、病薬の先生を中心に勉強会のプログラムも多彩に企画されていますので「沈まぬ太陽」ならぬ「沈まぬ調剤」で在り続けたいと思えます。保険算定は別として、航空機事故の要素は判断の誤り、技量の拙劣、不注意、怠慢、法的違反と調剤過誤防止の肝と全く同じ。

そう云えば、「沈まぬ」の主人公は「元」と書いてハジメ！ して長女が薬剤師！ いろいろと無理矢理に重複させて参りましたが支部紹介の「ようなもん」お開とさせて頂きたいと存じます。最後までご拝読有り難うございました。（吉田 嗣）

第7回「薬物乱用防止キャンペーンin北海道」

一般社団法人北海道薬剤師会が薬物乱用を未然に防止するため、社会貢献事業として毎年、道内で行われているイベントで今年度の開催担当は苦小牧でした。

この啓発キャンペーンでは、苦小牧市内小学校4・5・6年生、中学校、高等学校を対象に薬物乱用防止啓発ポスターデザインを募集し、受賞作品を掲載した薬物乱用防止に関するポスターをJR北海道の主要駅等に掲示し、利用される多くの道民の皆様に薬物乱用防止を訴えることを目的として行われました。

また今年度に関してはこれまで同様、薬物乱用の危険性を理解していただくために、また、

薬剤師の職能・職責の重要性を道民の皆様に理解いただくことを目的に、医薬品を正しく使用する事の大切さ、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを一人でも多くの方に知ってもらうために、ポスターなどを用いて積極的な啓発活動を行う週間であります「薬と健康の週間」(10/17~10/23)にあわせて展開されました。

◇薬物乱用防止キャンペーンCM放送

(STV ラジオ、全100本放送)

放送期間：令和5年10月1日(日)~10月31日

◇薬物乱用防止啓発ポスター掲示

・応募総数375作品中、入賞7作品

●JR北海道主要駅への掲示

1) 掲示期間：令和5年10月17日(火)~10月30日(月)

掲 示 駅：小樽駅、南小樽駅、小樽築港駅、俱知安駅、函館駅、五稜郭駅、旭川駅、富良野駅、名寄駅、稚内駅、岩見沢駅、美唄駅、滝川駅、釧路駅、根室駅、帯広駅、十勝清水駅、北見駅、網走駅、遠軽駅、東室蘭駅、苦小牧駅

2) 掲示期間：令和5年10月17日(火)~10月23日(月)

掲 示 駅：札幌駅、手稲駅、琴似駅、新札幌駅、森林公園駅、拓北駅、石狩当別駅、大麻駅、野幌駅、北広島駅、恵庭駅、千歳駅

●苦小牧市内におきましては薬剤師会を通して薬局での掲示、また教育委員会のご協力のもと各学校や公共施設において掲示していただきました。

(須藤雅博)

ボウリング大会

コロナ禍でしばらく中止でしたが、2023年に復活したボウリング大会も第三回目を迎えました。毎年概ね20人以上の参加者と応援部隊が集まり、苫小牧中央ボウルでレーンを貸し切って開催されます。

個人表彰とチーム別表彰で景品を用意し、個人は1～5位・ブービー賞・ブービーメーカー賞なども用意、会長・副会長からの景品をいただいたりもします。

またターキーチャンス「ダブルが出た方が次投げる際に一旦参加者全員の手を止めてもらい、注目の中一人で緊張してもらいながら投げ、ターキーが出るかどうかのメンタルとの勝負」などの企画も練り、少しでも盛り上がるように毎回色々と試行錯誤しています。

その後は懇親会を開きお酒を囲みながら大いに盛り上がりま（懇親会から参加してくれる方もいます）

日頃あまり交流のない薬剤師同士が交流を深める非常に貴重な機会であり、今後も継続していこうと考えています。

ちなみに私(小山内)はマイボールを片手に参戦しようと意気込んでいたのですが、押入れに数年置いていた結果、真ん中から

パッカーンと割れて全く使い物にならないという事に本番前日に明らかになるという始末。それでも意地と気合と根性で何とか4位に食い込み景品のプロテインをゲットできました。

今回の景品は以下ようになっていきます(2023年度)

- 1位：5000円商品券
- 2位：布団乾燥機
- 3位：3000円商品券
- 4位：プロテイン(ザバス)
- 5位：眼鏡超音波洗浄機

- チーム団体1位：各3000円商品
- ブービーメーカー：一億円お菓子
- ブービー賞：今回なし

チームメンバーや、実際の写真を載せておきます。



応援団 寺口会長・高杉副会長



なの花薬局チーム



薬局長チーム



幹事チーム



苫小牧市民薬局チーム



ボウリング大会

その他にも、各支部でも行われるとは思いますが、苦小牧支部においても苦小牧健康フェスタ・苦小牧キッズタウンなどの職業体験において薬剤師の業務を知ってもらうための活動、イベント等に積極的に参加しております。

また年に数回、とまこまい医療介護連携センターが主催する「在宅あるある会」が開かれており多職

種が集まり情報交換や、それぞれ多職種からの講演を聞いたりグループワークをしたりと様々な取り組みも行っています。

数年前から苦小牧支部中に青年部を立ち上げ、若手メンバーで集まり会合もする事もありこれからの苦小牧を支えていく若手の育成等々頑張っています。

是非皆さん、苦小牧に何かの縁があって来られた場合は薬剤師会に入って支部と一緒に盛り上げていただきたいと思います。苦小牧支部をよろしくお願い致します!!! (小山内真五)

支部の連絡先

当会へのお問い合わせは以下の通りになります

苦小牧薬剤師会事務局(医師会館3階)

〒062-8631 苦小牧市旭町2丁目4-20

TEL 0144-84-6147 FAX 0144-31-4121

メールアドレス:

tpajimukyoku@aroma.ocn.ne.jp

お知らせ

おくすり手帳のお申し込みについて 《A6判 40頁》

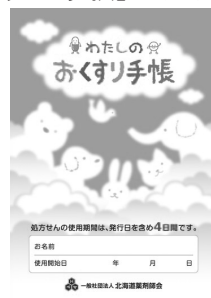
幅広い患者さまの年齢層に合わせて、「おくすり手帳」のデザインは4タイプです。



Aタイプ (うす黄)



Bタイプ (ピンク)



Cタイプ (水色)



Dタイプ (黄緑)

*お申し込みは各100冊より、FAXまたは電話にて承ります。デザイン詳細及びFAX注文用紙については道薬ホームページの会員専用サイトの右上にある『お薬手帳の申し込み』をご参照ください(巻末下の「会員専用ページ」のユーザー名、パスワードの入力が必要です)。 <http://www.doyaku.or.jp/member/topics/okusuri.html>

*価格は1冊25円。

*また、送料は別途実費相当(令和5年5月より1000冊まで1梱包700円)となります。

■お問い合わせ先: 北海道薬剤師会事務局 (電話: 011-811-0184 FAX: 011-831-2412)